



みやぎ

— 41号 —

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院  
 発行責任者 清野 仁  
 〒989-2202 宮城県巨理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
 ホムㇿㇿ http://www.mnh.go.jp/

病院機能評価の認定証が交付されました



院長 清野 仁

日本各地に大きな災害をもたらした梅雨も終盤となり、いよいよ夏本番を迎えようとしています。

さて、4年前にキックオフしたものの震災などで延び延びになっていた病院機能評価を、満を持して、3月3日、4日に受審し、6月下旬に合格認定証を受領することができました。当院としては初めて受審で不安でもありましたが、長期間に渡り準備し、蓄えてきた力を存分に発揮した成果であると思っております。

審査は、まさに宮城病院が掲げる『良い医療を安全に、心を込めて』という基本理念と行動理念が問われる内容であり、「理念達成に向けた良好な組織運営ができているか」、「患者中心の良質な医療の推進、提供ができているか」など、評価項目は84もの多岐に渡りました。S、A、B、Cの4段階で評価され、結果は、Sが1項目、Aが68、Bが15、Cは0と全体的に高い評価をいただくことができました。特にS評価を受けた項目は「災害時の対応を適切に行っている」であり、先の大震災発生時、および震災後の当院の対応を高く評価されたものでした。改めて、当院がこの地域にとってなくてはならない病院であり、町の復興には必須な存在であるという責務を実感し、今後とも、継続的な医療の質の改善を図り、より一層の地域医療の充実を目指さなければならないという思いを強くさせられました。



(次ページへ)

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

(前ページより)

先に開催されたサッカーの世界カップでは、決勝でドイツがアルゼンチンを破り見事な優勝を飾りました。特定の個の力に頼ってもろさを露呈したブラジルやアルゼンチンに対して、個々の力を磨き上げ、それを結集して見事なコレクティブ（組織）を築き上げた勝利であったと感じました。

当院は、平成25年度の収支で、黒字は確保できたものの収益は大幅に減少し、さらに来年度に移行する新法人下では、新たに、公経済負担や労働保険料負担などの大きな負担が加わることになるなど、逆風の中にあります。

しかし、ドイツサッカーが示したように、そして、我々が、今回の機能評価受審において、個々の力をひとつにして発揮した組織力をもってすれば、この逆境をも乗り越えられるものと確信しています。

当院が、地域の生活に密着し、町の復興・地域の発展に大きく寄与するためにも、引き続き、住民の皆様へ「安全で心を込めた良い医療」を提供していきたいと考えております。

## 第14回 NST研修会の実施

平成26年6月17日（火）に当院の栄養サポートチーム（NST）が主催する第14回NST研修会を当院大会議室で開催しました。

今回の内容は「脂肪乳剤について」と「当院の脂肪乳剤使用状況」についてでした。講師は、「脂肪乳剤について」は（株）大塚製薬工場の伊藤先生、「当院の脂肪乳剤使用状況」は当院の安藤統括診療部長でした。静脈栄養における脂肪乳剤のメリットや投与時の注意点などについての説明がありました。特に、脂肪乳剤は、投与速度が速すぎると、十分に脂肪が利用できなくなり、脂肪粒子が停滞し、血清脂質が高くなるので注意が必要であるとのことでした。また、質疑応答では参加者からの質問や講師との活発な議論が行われました。

平日の夕方にも関わらず、大勢の参加、ありがとうございました。次回（第15回）は10月21日（火）に「NST研修伝達講習」、「嚥下障害患者の食事基準と栄養管理」の内容で予定しております。

（栄養管理室長 小原 仁）



## 2014年度

### てんかんに関する臨床検査技師研修会に参加して

7月9日～11日まで国立病院機構西新潟中央病院で行われた、2014年度てんかんに関する臨床検査技師研修会に参加しました。てんかんに関する基礎知識や診断方法、治療方法、脳波検査の基礎、脳波の判読、脳波検査以外の検査などについて講義があり、脳波検査や脳磁図検査室の見学をさせていただきました。てんかんの診断に脳波検査は必須であるため、改めて検査方法の基礎や判読方法を学ぶことができ、脳波検査の判読ができるように症例を重ねていきたいと思っております。また、てんかんに関する検査の中に「ワダテスト」というものがあることを、今回の研修会で初めて知りました。これは、脳を切除する部位を決定するための検査の一つで、脳神経外科医、看護師の他にも言語療法士、臨床心理士、診療放射線技師、臨床検査技師が関わっており、臨床検査技師は検査中の脳波の記録を行うということでした。患者さんのために他の職種と協力してチーム医療を実践していくことが大切であると感じました。

今回の研修を通して得た知識や経験を生かしてきれいな脳波(医師が判読しやすい脳波)を記録することができるよう、日々の業務に取り組んで生きたいと思っております。

(臨床検査技師 須藤 里菜)

### 平成26年度 薬剤師実習技能研修に参加して

薬剤師実習技能研修(フィジカルアセスメント研修)が7月17日、18日の2日間にわたり仙台医療センターにおいて行われました。1日目はフィジカルアセスメントを行う上で必要となる知識構築のため、バイタルサインの測定意義、副作用を判断するための各種所見について等の講義があり、2日目には、聴診器の使い方をはじめベッドサイドモニターの使用法と判読法について、輸液ポンプやシリンジポンプの使い方など実際に機器等に触れながらの実習が行われました。実習では初めて聴診器に触れ、通常的心音や呼吸音に加え、フィジコを用いて疾患による音の異常を聞くことができました。また、輸液ポンプやシリンジポンプの操作については以前講習を受けたことがありましたが、触れる機会が少ないこともあり、アラームが鳴った時の原因や対処法など忘れていた点も多く、今回、再確認することができ良かったと思っております。他にもベッドサイドモニターについて説明していただいたり、CVカテーテルや導尿カテーテルについても教えていただきました。薬以外の知識を持つことで患者背景や状態を踏まえた指導や会話が可能となり、質の高い指導、医療の提供に繋がっていくと感じました。

学んだ全てのことを実行することは難しいかもしれませんが、できることから少しずつ幅を広げていければと思います。

(薬剤師 伏見 彩)

### 紹介医療機関 (6月末日現在) ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック(26件)
- ・東北大学病院(21件)
- ・仙台厚生病院(18件)
- ・平田外科医院(14件)
- ・南東北病院(14件)
- ・公立相馬総合病院(13件)
- ・菅野医院(13件)
- ・金上病院(13件)
- ・宮城県立がんセンター(11件)
- ・みやぎ県南中核病院(10件)

上位10医療機関のほか、県内外111医療機関からご紹介いただいております。

# 診療案内

平成26年7月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
			神部 陽子	神部 陽子		仙台医療センター
神経内科	新患	伊藤 博明	松本 有史	久永 欣哉	東北大学病院	東北大学病院
	再来	久永 欣哉	久永 欣哉		久永 欣哉	久永 欣哉
		今井 尚志	伊藤 博明	松本 有史	伊藤 博明	
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科(午後)				県立がんセンター (13:30~15:30)	県立がんセンター (検査日)	
循環器科		星 信夫	東北大学病院	星 信夫	星 信夫	星 信夫
			(星 信夫)			
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)		療育相談 (大島 武子)	
整形外科(午後)						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科(午後)						澤村 武 泉山 祐美 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
		(仁村 太郎)				永松 謙一
皮膚科					東北大(第3木)	
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	神経内科外来にて随時受付				
	もの忘れ外来	神経内科外来にて随時受付				
	頭痛外来	神経内科外来にて随時受付				
	ALS外来	今井 尚志				
	糖尿病外来				東北大学病院	
	禁煙外来(午後)					山本 蒔子 (第2・4週)
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	腎臓病外来(午後)					東北大学 (第1・3週)
	入れ歯外来				伊藤 秀美	伊藤 秀美

## 受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
ただし、救急の方は随時受け付けいたします。  
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2,700円を負担**していただくことになりますので予めご了承願います。

## 交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。  
高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線亶理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

